資料６

平成３０年度　こども手話講座について（案）

１　目的　　子どもの長期休暇期間中に子ども向け手話イベントを開催し，子どもが無理なく自然に手話に親しめる環境を提供する。

２　対象　小学３年生（８歳位）まで

３　日時・場所

１２月２６日（水）東光図書館

１２月２７日（木）永山図書館

１月　８日（火）末広図書館

１月　９日（水）神楽図書館

１月１１日（金）中央図書館

※いずれも１４：００～１５：００（４５分～６０分）

４　定員　２０名

５　主催　旭川市障害福祉課

※一般社団法人旭川ろうあ協会への委託により実施

６　共催　中央図書館，地区図書館

７　内容

（１）絵を見て想像を膨らまそう！（クイズ形式）

（２）手話で絵本を楽しもう！

（３）手話を身近に感じる本の紹介（図書館の協力）

８　周知方法

・広報「あさひばし」（１１月号に１２月実施分，１２月号に１月実施分を掲載）

・市ホームページ，フェイスブック

・チラシ配布（幼稚園・保育園・小学校・ろう学校）（支所，公民館，図書館）

※チラシは現在作成中

９　申込方法　　事前申込（人数確保の関係上）

10　申込先　　一般社団法人旭川ろうあ協会

11　申込期限　　１２月実施分：平成３０年１２月１８日まで

１月実施分：平成３０年１２月２８日まで

資料６

《参考：内容のイメージ》

（１）絵を見て想像を膨らまそう！（クイズ形式）

ア　同じ色をあてるゲーム

赤色といえば？→「太陽」・「リンゴ」・「タコ」・「スイカ」・・・・

黄色といえば？→「ひまわり」・「ひよこ」・「トウモロコシ」・・・・

緑色といえば？→「ピーマン」・「蛙」・「メロン」・・・

それぞれの単語の手話を教える。

メリット：視覚効果でかたちなどによるイメージができ，想像できやすい。

イ　イラストを見て，手話を考えながら表現してみる

「ネコ」・「ヘビ」・「スイカ」・「ボール」・・・

メリット：イラストは小学校を対象とした手話出前講座の教材を使用できる。

（２）手話で絵本（幼児～児童共有可能絵本）

ア　「はらぺこあおむし」

理由：青虫からさなぎ，最後は蝶になる様子，また「何を食べるのか」の「何を」の表現は視覚効果が高いこと。以前，ある保育園で3～5歳の園児を対象に「はらぺこあおむし」の絵本紙芝居を実施。普段見慣れている絵本を「手話」で表現することにより印象深く学習ができるのではないかと思われる。

イ　「かお」

理由：いろんな「かお」。わらったかお、おこったかお、ないたかお、へんなかお…表情が豊かでありつつも，黒い線で描かれたシンプルな顔の数々に、子どもは一緒に笑ったり，怒ったり，悲しんだりと感情移入しながら楽しむことができる。方法としては，絵を見て表情を作るってもらう⇒その表情の手話（身振り）を教える。